

平成 29 年度 九州大学応用力学研究所 共同利用研究集会

非線形波動研究の新潮流 ー理論とその応用 ー

期間：2017 年 11 月 9 日 (木) 13:30 ~ 11 日 (土) 14:00

場所：九州大学筑紫地区筑紫ホール (C-Cube 1 階)

11 月 9 日 (木)

- 13:30~14:00 ○間瀬崇史 (東京大), ウィロックス・ラルフ (東京大), ラマニ・アルフレッド (IMNC, University of Paris VII & XI), グラマティコス・バジル (IMNC, University of Paris VII & XI)
特異点閉じ込めと代数的エントロピー I
- 14:00~14:30 ○ウィロックス・ラルフ (東京大), 間瀬崇史 (東京大), ラマニ・アルフレッド (IMNC, University of Paris VII & XI), グラマティコス・バジル (IMNC, University of Paris VII & XI)
特異点閉じ込めと代数的エントロピー II
- 14:30~14:45 休憩
- 14:45~15:45 澤正憲 (神戸大)
[特別講演] Quasi-Hermite polynomials, Quadrature formulas, Hausdorff-type Diophantine equations
- 15:45~16:00 休憩
- 16:00~16:30 西岡斉治 (山形大)
 q -Airy 方程式の解の超超越性
- 16:30~17:00 中屋敦厚 (津田塾大)・岡田聡一 (名古屋大)・○執行洋子 (津田塾大)
KP 階層のタウ関数の展開係数について
- 17:00~17:30 新澤信彦 (西日本工大)
一般的双線形差分方程式と Backlund 変換方程式のソリトン解

11 月 10 日 (金)

- 10:00~10:30 ○羅宇 (京都大)・辻本諭 (京都大)
Bannai-Ito 多項式の例外型拡張とその古典性について
- 10:30~11:00 辻本諭 (京都大)
Askey-Wilson 多項式に付随する代数について
- 11:00~11:10 休憩
- 11:10~12:10 中川淳一 (新日鐵住金)
[特別講演] 製造プロセスにおける数理的研究の現状と数学と物質・材料の連携、更なる数学連携の展開について
- 12:10~13:30 昼食

- 13:30~14:30 川崎浩司 (ハイドロソフト技術研究所)
[特別講演] 3次元津波シミュレーションと可視化技術
- 14:30~14:45 休憩
- 14:45~15:15 竹村 剛一 (中央大)
符号付き超離散パウルヴェ第二方程式とその解について
- 15:15~15:45 ○渡邊靖之 (早稲田大)・田中悠太 (早稲田大)・城戸真弥 (早稲田大)・笈三郎 (立教大)・丸野健一 (早稲田大)
DKP 方程式のソリトン解のロンスキ型パフィアン表示とネットワーク
- 15:45~16:00 休憩
- 16:00~17:30
ポスターセッション
- 18:00~
懇親会

11月11日(土)

- 10:00~10:30 ○金泉大介 (早稲田大)・丸野健一 (早稲田大)
Jackson の第 2 種 q -Bessel 関数の精度保証付き数値計算法
- 10:30~11:00 上岡修平 (京都大)
対称な逆平面分割と離散 2 次元戸田分子
- 11:00~11:10 休憩
- 11:10~11:40 ○井ノ口 順一 (筑波大)・梶原 健司 (九州大)・三浦 憲二郎 (静岡大)・朴 炯基 (九州大)・Schief Wolfgang (University of New South Wales)
相似幾何における弾性曲線とその離散化・CAGD との関連について
- 11:40~13:00 昼食
- 13:00~13:30 野邊厚 (千葉大)
ランク 2 ミューテーションの不変曲線について
- 13:30~14:00 ○大久保直人 (青山学院大)・鈴木貴雄 (近畿大)
クラスター代数と q -パウルヴェ方程式の退化構造

ポスターセッション (11月10日 16:00-17:30)

○佐々木幹子 (山形大)・○本郷史也 (山形大)・西岡斉治 (山形大)・村田実貴生 (東京農工大)

FitzHugh-Nagumo 方程式の超離散化

○坂田 幸太郎 (早稲田大)・延東 和茂 (早稲田大)・高橋 大輔 (早稲田大)

グローバルセルオートマトンの諸性質の解析

○ 時枝佑次 (早稲田大)・高橋大輔 (早稲田大)

max 方程式の単調性と保存量について

○ 赤岩 香苗 (京都産業大)・谷口 雄大 (同志社大)・近藤 弘一 (同志社大)

離散戸田方程式を用いた要素および固有値が指定された逆固有値問題の解法

○ 小俣亮 (早稲田大)・高橋 大輔 (早稲田大)

解の複雑度による 4 近傍 max 方程式およびセルオートマトンのクラス判定

○鈴木 大庸 (法政大)・磯島 伸 (法政大)

双線形化法による離散時間 Newell-Whitham モデルの特殊解の構成

○佐々木裕文 (早稲田大)・佐々木文夫・山田道夫

ブラインド再構成と逆問題

三木啓司 (気象大学校)

Symplectic 行列束と歪直交多項式

○ 城戸 真弥 (早稲田大)・○ 田中 悠太 (早稲田大)・渡邊 靖之 (早稲田大)・

笈 三郎 (立教大)・丸野 健一 (早稲田大)

ソリトンとネットワーク

○巢山 大地 (早稲田大)・永原 新 (早稲田大)・丸野 健一 (早稲田大)

Davey-Stewartson II 方程式のダーク型線ソリトン相互作用と三角形分割

久保田千尋 (津田塾大)

ランダムソーティングネットワークに関連する数値実験

前田一貴 (関西学院大)

箱玉系の番号・運搬車ルールの拡張について

○金丸真理子 (立教大)・笈三郎 (立教大)

Misanthrope model の流量-密度関係式の導出について

Tomoaki Hirakawa (九州大)

Ocean wave characteristics around Kyushu